

各 位

会 社 名 オンキヨー株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 大舩宗徳
 (J A S D A Q ・ コード 6 6 2 8)
 問 合 せ 先
 役 職 ・ 氏 名 代表取締役副社長 中野 宏
 電 話 0 6 - 6 2 2 6 - 7 3 4 3

特別損失の計上、繰延税金負債の計上および
 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）において、下記のとおり特別損失および繰延税金負債を計上することといたしましたので、その概要につきお知らせいたします。また、平成 28 年 2 月 12 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社および当社連結子会社が所有する固定資産の一部について、平成 29 年 3 月期以降への業績を考慮し帳簿価格を将来回収可能価額まで減額した結果、減損損失 590 百万円を特別損失として計上いたします。また、当社が保有する投資有価証券や関係会社株式に対し減損処理または売却を行い、投資有価証券評価損 297 百万円および関係会社株式売却損 196 百万円を特別損失に計上いたします。

2. 繰延税金負債の計上について

平成 28 年 3 月 16 日に公表いたしました固定資産の譲渡に関連し、当社において特定資産の買換えの圧縮記帳を適用した結果、繰延税金負債を計上するとともに法人税等調整額 655 百万円を計上いたします。

3. 業績予想の修正について

(1) 平成 28 年 3 月期 通期業績予想の修正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	67,000	△1,500	△1,900	500	円 銭 6.61
今回修正 (B)	64,000	△2,000	△2,200	△1,100	△14.54
増減額 (B - A)	△3,000	△500	△300	△1,600	—
増 減 率 (%)	△4.5%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	35,563	△2,616	△3,483	△4,060	△64.58

(注) 平成 28 年 3 月期の 1 株当たり当期純利益は、平成 27 年 11 月 24 日実施の第三者割当増資による新株式の発行分 (8,080,600 株) を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

(2) 修正の理由

売上高につきましては、主力AVレシーバーの販売が伸び悩んだことやデジタルライフ事業のヘッドホン、電話機などの販売が前回予想を下回る見込みです。それにともない、営業利益、経常利益も予想を下回り、また上記特別損失の計上および繰延税金負債の計上により親会社株主に帰属する純利益につきましても前回予想を下回る見込みとなりました。

当社グループは引き続き、生産、開発過程における原価低減等で既に効果が出始めたパイオニアホームAV事業との統合によるシナジー効果の実現に加え、デジタルライフ事業の拡大を目指してまいります。また、新素材を採用したスピーカー振動板の商品化や、Zylux社との資本業務提携を通じオーディオ完成品のOEM生産を拡大し、当社生産工場の稼働率の向上を図ります。更に、株式会社河合楽器製作所との資本業務提携を通じ、新規カテゴリ製品の共同開発による新規市場の開拓、両社製品の販売拡大、製品や教育サービスにおける付加価値向上を実現するとともに、両社グループの事業基盤の有効活用を通じた経営の効率化を目指してまいります。

当社グループは、上記の各種協業によるシナジー効果を早急に実現して業績の早期改善を目指してまいります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績は今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上